

早急に小・中学校にエアコン設置を！ 生活壊してまで滞納処理すめるな

佐久間 久良 議員



問 小・中学校のエアコン設置の進捗状況やいつまでに完了させるのか。

答 小・中学校普通教室へのエアコン設置は、幼稚園も含め、昨年度、電気容量調査、またガス動力との比較検討調査等を実施しました。この調査結果をもとに、関係課等と検討し、準備を進めてまいります。

問 子どもたちは待っていてくれません。未来を担う子どもたちのために早急に手当をしていただきたい。

学校給食について伺いたい。給食は教育の一環。義務教育は無償との観点から、無償提供するべきである。無償化までとはいかなくとも、第2子は半額、第3子は無料にするなど、子育て支援という観点から、実現していただきたい。

答 市では、学校給食費の助成として、ひとり月に小学生は500円、中学生は600円の補助金を平成24年度から市単独で支給しています。市は、財政状況等を踏まえ、現状制度を維持していくことが適当との判断から、無料化、もしくは第2子、第3子に対する軽減については、今のところ考えておりません。

問 よく答弁で、「近隣市町村の動向を注視して」といいます。大網白里市が先にやってみよう、その後ほかの市町村が続くという状況を作れると思う。ぜひその観点で、市長に英断をしていただきたい。

次に税金等の滞納などの問題を取り上げたい。ここで強調したいことは、払えるのに払わない方を対象にしているのではなく、払いたくても払えない方、または税金を約束どおりに分納しているにもかかわらず、強権的に滞納処理を行うようなやり方に対しての質問です。千葉県は住民の生活よりも税金を納めることが先だと言わんばかりの強権的な対応をしています。そんな中、市民の生活再建を何よりも重視している自治

体もあります。滋賀県野洲市では、納付相談に乗りながら、相談者が自立できるように支援を行っています。その仕組みを債権管理条例として定めました。特徴は、市民税、国保税、給食費などの滞納は生活状況を把握するためのシグナルとして捉えて、市民生活支援のきっかけにするとして、その根底には、「市民生活を壊してまで回収しない」という市の決意があらわれています。

市長 行政サービスを提供するためには、市税のほか介護保険料など、納付していかねばなりません。しかし、生活に困窮し、税や保険料などの債権を滞納された方が、滞納した税等を強制的に徴収されることにより、生活が成り立たなくなってしまうということでは、市民生活を支えていく立場の自治体としては、施策の整合性を欠くと考えています。私も、市民の生活を第一に考えて、施策や事業を進めていますので、生活困窮者に対しても、個々の事情に配慮し、適切に対応するように今後とも職員には指示をしてまいりたいと考えております。

問 国民健康保険について伺います。千葉県が決めた給付金は100%県に納めなければなりません。納付金によって、国民健康保険税が決まってくると思う。県は納付金額や標準保険税率を示しているのか。

答 平成28年度の決算額に基づき来年度2月ごろに各市町村の納付金額及び標準保険税率の確定値が示される予定です。

問 標準保険料率などが、現在の大網白里市での保険税よりも上回っていた場合の対応は。

答 歳入予算を上回った場合は、県国保会計の財政安定化基金の交付が受けられ、被保険者の負担が急に大きくならないよう配慮された制度設計が示されています。

みどりが丘市有地に、 子育て支援施設の早期実現を要望！

前之園 孝光 議員



問1 本市における人口減少対策、子育て支援対策について、質問いたします。

市長 市では、平成27年10月の市の人口ビジョンを受け同時期に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、この課題に対処するために、人口の自然増、社会増を目指し、少子化への対応、転入の促進を図っていくことが重要であると致しまして、①仕事をつくり、安心して働ける場所をつくる。②にぎわいと活力にあふれた新しい人の流れをつくる。③若い世代が住みたくなる出産・子育て・教育環境を実現する。④子どもからお年寄りまで全ての世代が安心して安心な暮らしができる地域をつくるという4つの目標を掲げました。これらの目標を達成するため、さまざまな施策を推進していく事といたしました。

問2 みどりが丘市有地活用基本計画の土地利用や施設計画の立案、すなわち機能や規模、配置計画、概算事業費と資金調達方法など、その概要について質問します。

また、子育て支援施設や産院、小児科医院について、医療法人や医師と協議を重ね、誘致の実現に向けて努力していると思いますが、進捗状況についても質問いたします。

答 子育て支援施設につきましては、隣接する大網小学校の児童数が急増している現状に対応するため、学童保育室、放課後子ども教室、子育て支援センター、児童館などの施設が想定されております。

産婦人科医院につきましては、ベッド数12から14床程度で、出産から産後のケアまでのサービスを提供できる産科診療所を誘致し、初年度は年間100分娩、3年後には200から250分娩を目指す提案となっております。

商業施設につきましては、地域から要望の高いスーパーマーケットを中心に、ドラッグストアや子育て支援施設と産婦人科医院を有機的につなぎ、相乗効果を図る機能としてカフェやレストランなどの飲食施設が想定されております。その他、共用施設につきましては、駐車場及びイベント会場や軽いスポーツができる自由広場を想定しております。

問3 ①子育て世代の多いみどりが丘市有地の活用は、子育て支援施設の早期実現とともに、「私立の幼稚園」または「幼稚園と保育園を一体化した認定こども園」の誘致、建設を要望いたしました。

問4 「民間保育所の保育士の待遇改善」についても要望しました。

問5 「狂犬病予防接種事業の推進」について要望いたしました。

問6 「本市の就学援助制度の事業推進」についても要望しました。

20年後、ウミガメが産卵できる環境 保護施策の推進を！

黒須 俊隆 議員



問 海浜動植物の保護等、九十九里浜の自然を保護することについての基本的な考えをお聞かせ下さい。

答 本市の主要な観光資源である白里海岸におきましては、県立九十九里自然公園特別地域内における千葉県立自然公園に指定されており、ことから、当公園条例をはじめとする関係法令を遵守し、自然保護に努めてまいります。また、各種イベント等を実施するにあたりましては千葉県の関係機関と調整を図り、自然保護に配慮しながら事業を展開しております。

問 ウミガメの上陸、産卵状況、ウミガメの卵の移植の状況についてお答え下さい。

答 昨年度産卵したウミガメは4頭でありました。そのうち孵化したのは2頭であり、卵の合計数量は152個でございます。なお、孵化しなかった2頭のうち1頭にあつては移植したものであり、もう1頭にあつては台風の影響により高潮で流出されたところでありました。

次に、ウミガメの移植についてでございますが、昨年度移植しましたのは6月12日、日曜日、四天木にて産卵された1頭分でございます。産卵した箇所は波打ち際から近いところであり、大潮などの潮位高の際においては産卵巣を冠水し、孵化が期待できない状況でありました。つきましては、銚子水産事務所、自然を守る会、自然保護指導員と協議した結果、3日後の15日、水曜日に移植したところでございます。なお、移植した卵の数量は92個ございましたが、残念ながら全て孵化しませんでした。

問 市長は事務報告で、千葉県の海岸侵食対策に関して、コンクリート構造物による海岸整備を極力控えるように千葉県に要望したと述べています。

白里海岸で産卵するのはアカウミガメです。アカウミガメの赤ちゃんは海流に乗って銚子沖からアメリカの西海岸まで泳いで行き、20年ぐらいたったウミガメは西海岸から日本まで、白里海岸まで1万キロ以上泳いで戻ってきて産卵します。アカウミガメは日本でしか卵を産みません。昨年に卵を産んだ親ウミガメは、20年前、30年前に九十九里浜で生まれたウミガメかもしれません。

目先のことで川を護岸したり海を護岸して、ウミガメが産卵できない環境になってしまったら、30年後、今生まれた子どもたちが大人になった頃に、自分の子どもたちにはウミガメを見ることができない、そういう環境になってしまう可能性があると思います。ぜひ海岸を守る、海を守るということを、目先の公共事業にとらわれないで考えたいと思います。



海へ向かうウミガメの子